計画の名称	インターチェン	ンジや新草	幹線駅等へのア	クセス性	E向上を図る	街路整備														
計画の期間	平成26年原	隻 ~	平成30年度	(5年間	1)												重点重	記分対象の該当	0	
交付対象	八戸市,青森県																			
計画の目標	東北新幹線新青	青森駅、青	青い森鉄道筒井	駅、東北	2縦貫自動車	道ICへのフ	アクセス	ス性向上と都市内交	通ネ	ットワークの形成を図る。	,									
	東北新幹線八声	■駅、JRノ	八戸線本八戸駅	、東北絲	£貫自動車道	ICへのア	クセス性	性向上と都市内交通	ネッ	トワークの形成を図る。										
全体事業費	費(百万円)	合計((A + B + C +	D)		7,663	Α	7,509	В	0	С	154	D	0	,	効果促進事業費の割合 C /	(A + E	B + C + D)	2	%

	計画の成果目標 (定量的指標)			
番号		ji	三量的指標の現況値及び目標	值
田与	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	20%	20%	23%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 x 100			
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	41%	41%	41%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 x 100			
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	21%	23%	23%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 x 100			
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北縦貫自動車八戸IC・八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積	23%	23%	24%
	又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。			
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積 x 100			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

		事業	地域	交付	直接	古光士	1 4 Dil 4	14-01-0	要素となる事業名	事	事業内容	市区町村名/	事業実施	も期間 (年度)	全体事業費	費用	個別施訂
事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長	長・面積等)	港湾・地区名	H26 H27	H28 H	29 H30	(百万円)	便益比	策定制
		一体的に	実施する	ることによ	り期待	_ される効果		1	-	-		'						1
		備考																
業	A01-001	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区 (3・4・27号	区画整理	A=96.7ha	八戸市				65		-
									松森高田線外) (21-A1)									
	A01-002	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区(3・1・1号八	区画整理	A=96.7ha	八戸市				2,713		-
									戸駅西中央通り線外)(2									
A									1-A2)									
			1	•	•	1	'	•		1		-			'			
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江	街路整備	L=1.4km	青森市				337		-
) (21-A3)									
					_	1			1									
	A01-004	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・24号筒井大矢沢線(2	街路整備	L=0.3km	青森市				274		-
									1-A4)									
						T										,		
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3.5.1号沼館三日町線(21	街路整備	L=0.7km	八戸市				870		-
									-A5)									
						ı												
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3·3·8号白銀市川環状線(街路整備	L=1.3km	八戸市				3,250		-
									尻内)(21-A6)									

基幹事業		事業	地域	交付	直接	丰业大	1 4 11 4	1 4 DJ 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業	実施	期間(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別∠	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H26	H27	H28	129 H30	(百万円)		策定状況
			実施する	ことによ	り期待る	れる効果												
		備考				Г	1		Ţ							1		
											小計					7,509		
					1	I												_
											合計					7,509		
							_											
							•					'			'			,-11
						•												-
			1			I			-		'	1 1			·			.1
					1	1	1								1	1		
					1	l	1											

		事業	地域	交付	直接	= × +	1 4 Dil 4	1 4 Dil 0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実	施期間	(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	1	間接		種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名						策定状況
		一体的に	実施する	ることによ		 される効果	1										
		備考															
路事業	C01-001	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	計画調	駅前広場基本計画設計(2	駅前広場基本計画設計	八戸市				14		-
								查	1-C1)								
		区画整理	 事業と-	- −体的に実	 尾施し、!	 駅周辺地区σ		を図るこ	」 ことを目的として、駅前広場	ルース ファイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア							
	C01-002	 街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	施設整	案内板設置、ベンチ設置	案内板設置等 N=1式	八戸市				140		-
								備	 、シェルター設置 (21-C2								
)								
		区画整理	│ 事業に』	 ろ待路敷	_ ዾ備と併‐	<u> </u> サ 垂車場箋	_ ≤内板設置	 等の駅前	<u>/</u> 広場整備を行うことにより	 	 戸駅)との連絡強化	 た支援で					
	区画整理事業による街路整備と併せ、乗車場案内板設置等の駅前広場整備を行うことにより、交通拠点(東北新幹線・八戸駅)との連絡強化を支援する。 駅前広場整備																
		M/HJ/ZJ/M	±= 1## 				1				小計				154		
											וייוני				134		
				T	1	I	1	1	T	I			1		1		1
											合計				154		
				1	_	T	1		T	T							
			•				•	•									
				ı		I	ı		I.	L							
							1										

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	561	459	517	699	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	561	459	517	699	
前年度からの繰越額 (d)	318	264	326	342	
支払済額 (e)	615	361	501	792	
翌年度繰越額 (f)	264	326	342	249	
うち未契約繰越額(g)	137	260	134	19	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	36	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	15.58	40.94	15.89	1.82	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場	工事施工上障害となる家屋	用地交渉中の地権者が亡く	河川協議に不測の日数を要		
合その理由	の撤去・移転に係る補償協	なり、交渉が中断し、地権	し、工事着手が出来なくな		
	議に不測の日数を要したた	者および借地人の移転協議	ったため		
	ø	に時間を要したため			

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 平成29年03月24日

計画の名称	都市内交通の	円滑化と拠点への連絡強化を	促進する街路整備													
計画の期間	平成26年月	度 ~ 平成30年度 (5	年間)										重点	配分対象の該当		
交付対象	青森市,弘前市	5,黒石市,青森県,三沢市,むて	市													
計画の目標	東北縦貫自動車	車道IC、東北新幹線新青森駅	への連絡強化を促進し、	都市區	内交通ネットワークの形	成を	を図る。									
	弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によるネットワークを形成し、交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る。															
	地域内の高規模	地域内の高規格幹線道路ICおよび国道間の連絡強化を図るとともに、東北新幹線八戸駅へのアクセス向上を図る。														
全体事業費	貴(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,949	Α	7,932	В	0 C	17	D	0)	効果促進事業費の割合 C /	(A +	- B + C + D)	0.2	1 %

	計画の成果目標(定量的指標)			
番号		范	三量的指標の現況値及び目標	值
шЭ	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	20%	20%	23%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100			
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	41%	41%	41%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100			
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	市街地中心部(弘前市土手町)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する	31%	32%	32%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100			
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する	21%	23%	23%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100			
5	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大			
	主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC、八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面	23%	23%	24%
	積又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。			
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積×100			

	計画の成果目標(定量的指標)				
番号				定量的指標の現況値及び目	目標値
留写	定量的指標の定義及び算定式		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H	H26当初	H28末	H30末
6	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
	八戸市民病院へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。	1	23%	24%	24%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100				
7	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
	市中心部(むつ市役所)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。		11%	11%	11%
	(割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積/ 市街化区域面積×100				
		-		•	,
		1			1
		'		1	<u>'</u>
				-1	
				-1	
					L
				1	
				1	I
	備考等	別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含

		事業	地域	交付	直接	= ** +	1 4 11 4	14.01.0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実施	施期間 (年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別Ⅰ	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H26 H27	H28 H29 H30	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待	される効果	'									
		備考														
事業	A01-001	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・2・2号内環状線(浜田)	街路整備 L=0.6km	青森市			2,847		-
									(22-A1)							<u> </u>
	A01-002	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・4・3号蜆貝八重田線(奥	街路整備 L=0.3km	青森市			27		-
									野2)(22-A2)							
	A01-003	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3• 4• 16号油川岡町線(22-	街路整備 L=0.7km	青森市			49		-
									A3)							<u></u>
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線	街路整備 L=0.2km	弘前市			73		-
									(22-A4)							
	A01-005	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3·4·7号黒石環状線 (22-A	街路整備 L=0.9km	黒石市			230		-
									5)							
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(街路整備 L=0.6km	八戸市			180		-
									中居林) (22-A6)							
				•												
																$\overline{}$
			1		1	1	1		1	I				1		

		事業	地域	交付	直接	= ** ±	1 1 01 4	1 4 Dil 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実施	拖期間 (年度	全体事業費	費用	個別施設計i
幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1 	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H26 H27	H28 H29 H	0 (百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待っ	される効果	1		•	1						
		備考														
事業	A01-007	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(街路整備 L=1.3km	八戸市			159		-
									尻内)(22-A7)							
			_													
	A01-008	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3.4.3号中央町金矢線(22	街路整備 L=1.6km	おいらせ町、三			1,465		-
									-A8)		沢市					
											·					
	A01-009	街路	一般	三沢市	直接	三沢市	S街路	改築	3·4·4号春日台十和田線(街路整備 L=0.8km	三沢市、六戸町			176		T-
									22-A9)							
	A01-010	街路	一般	むつ市	直接	むつ市	S街路	改築	3・4・1号横迎町中央2号線	街路整備 L=1.0km	むつ市			1,399		T-
									(22-A10)							
	A01-011	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	8・7・2号青森駅自由通路(街路整備 L=0.2km	青森市			63		-
									22-A11)							
	A01-012	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江	街路整備 L=1.4km	青森市			323		-
) (22-A12)							
			1	1						1	1					

		事業	地域	交付	直接	古光士	1 4 01 4	1 4 Dil 2	要素となる事業名		事業内容	市区町村名/	事業実	施期間	(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別	種別 2	(事業箇所)	(延	長・面積等)	港湾・地区名				(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に		ることによ	り期待	- される効果	1	1										
		備考																
路事業	A01-013	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3.5.1号沼館三日町線(22	街路事業	L=0.7km	八戸市				936		-
									-A13)									
															•			
	A01-014	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3.4.20号紺屋町野田線(2	街路整備	L=0.9km	弘前市				5		-
									2-A14)									
				•		1		1	1	1		'			'	•		•
									1									1
												小計				7,932		
					1				_				1 1					
												合計				7,932		
			T	Ι		I	T			1				1 1				1
					1									1 1				
																		Τ
									1									
							1		1					\perp				

初期 地域 夕付 本田 本田 本田 本田 本田 本田 本田 本	0. 数用仍准束署																		$\overline{}$
番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 種別 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H26 H27 H28 H29 H30 (百万円) 便益比 策定状況 一体的に実施することにより期待される効果 備考 日路事業 C01-001 街路 一般 弘前市 直接 弘前市 S街路 調査 交通環境調査(22-C4) 駅周辺地区の交通解析 弘前市 弘前市 17 - 街路事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図る整備を行うことを目的として、駅周辺における交通解析、各種調査、計画を実施する 小計 17 17 17 17 18 17 17 19 17 19 17 19 19	C 効果促進事業		T = 3K	T 111-1-B	T ->-	T +++	т—					T + E = # 42 /		14 34-				T ## m	
基幹事業(大) 番号 種別 対象 間接 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H26 H27 H28 H29 H30 (百万円) 便益比 東定状況 一体的に実施することにより期待される効果 備考 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H26 H27 H28 H29 H30 (百万円) 便益比 東定状況 日本 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東	++ + √ = * * *			1				種別 1	種別 2	1									
備考 C01-001 街路 一般 弘前市 直接 弘前市 宮街路 調査 交通環境調査 (22-C4) 駅周辺地区の交通解析 弘前市 17 - 日路事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図る整備を行うことを目的として、駅周辺における交通解析、各種調査、計画を実施する 小計 17 17 17 17 17 17 17 1	基幹事業(天)	番号								(事業固所)	(延長・面積寺)	港湾・地区名	H26	H27	H28	H29 H30	(白力円)	使益比	黄正状况
道路事業 C01-001 街路 一般 弘前市 直接 弘前市 S街路 調査 交通環境調査(22-C4) 駅周辺地区の交通解析 弘前市 弘前市 17 - 街路事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図る整備を行うことを目的として、駅周辺における交通解析、各種調査、計画を実施する 小計 17 17 17 17 19 17 19 19				実施する	うことによ	リ期待で	される効果												
街路事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図る整備を行うことを目的として、駅周辺における交通解析、各種調査、計画を実施する 小計 17													1		, ,			т	
小計 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	道路事業																17		-
			街路事業	と一体的	りに実施し	ノ、駅周i	辺地区の機能	心向上を図	る整備を	≟行うことを目的として、駅	は周辺における交通解析、各種	調査、計画を実施す	する						
			+			T		T				小計					17		
合計 17												15						L	
会計 17																			-
		+	+	$\overline{}$	T	\top			Т	T	Т		T	Γ			T 47		
					<u></u>	<u>Ш</u>						育計					17		
					.													.	
																-			
						T	T	T											
																			1
					T				_	Т	Т		1	Г					+
					<u> </u>														
				-		-			-										
						T	T	T	\top										\top
		<u> </u>	-		T					T	Т	T	1	1				Τ	
						<u></u>													

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	609	208	580	230	
計画別流用増 減額 (b)	0	63	0	0	
交付額 (c=a+b)	609	271	580	230	
前年度からの繰越額 (d)	392	320	146	296	
支払済額 (e)	671	445	460	441	
翌年度繰越額 (f)	320	146	266	85	
うち未契約繰越額(g)	42	127	21	7	
不用額 (h = c+d-e-f)	10	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.19	21.48	2.89	1.33	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		関係機関との協議に不測の			
合その理由		日数を要したため			

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金 平成30年03月20日

計画の名	称 通学路の安全	きを確保する街路整備(防災・安	全)							
計画の期	間 平成26年	度 ~ 平成30年度 (5年	間)					<u> </u>	直点配分対象の該当	0
交付対	青森県,弘前	市,黒石市						·		
計画の目	標類急合同点格	ὲ及び通学路交通安全プログラム	により要対策個所と位置付けられた	:通学路の整備を促進し、安全	全・安心な通学路を確保する					
全体事	業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	4,867 A	4,867 B	0 C	0 D	0 効果促進事	業費の割合C/(A	A + B + C + D)	0 %
				計						
番号								定量的指標の現況	直及び目標値	
田与			定量的指標の定	2義及び算定式			当初現況値	中間目標	植	景終目標値
							H26当初	H28末	H30末	
			り要対策個所と位置付けられた通学							
			り要対策個所と位置付けられた通学 5777年 2、100	路の整備率			0%	57%	62%	
	(整備率)=(x		所進長)×100							
-										
									1	
-										
-										
								1	I	
			備考等			個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	定住自立圏を	含む - 連携中枢	都市圏を含む -

		事業	地域	交付	直接	中米士	1 1 1 1 1 1	1 4 Pil 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実施	施期間(年度)	全体事業費	費用	個別施設	
事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名		H28 H29 H30	(百万円)	便益比		
					り期待	 される効果	1	-			ı	1 1	1 1	ı			
		備考															
¥	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・3号蜆貝八重田線(筒	街路整備 L=0.4km	青森市			1,312		-	
									井) (24-A1)								
	A01-002	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線(街路整備 L=0.5km	青森市			1,986		T -	
									奥野)(24-A2)								
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・3号下白銀町福田線(街路整備 L=1.2km	弘前市			297		T -	
									高崎) (24-A3)								
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線	街路整備 L=0.1km	弘前市			40		-	
									(24-A4)								
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3.4.20号紺屋町野田線(2	街路整備 L=0.9km	弘前市			335		T -	
									4-A5)								
	A01-006	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3· 4· 7号黒石環状線 (24-A	街路整備 L=0.9km	黒石市			897		-	
									6)								
											小計			4,867			
			_1	l	1	I	1	1	ı	I .			1 1			1	

[幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名			(年度) H29 H30		費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に				される効果	1		1		1						
		備考															_
											合計				4,867		
							ı									l	
							I		L. L.					 	1		
					1		1				1	1 1			<u> </u>	I	1
					1		1									1	
			,						•				•				
					1		1					1 1		 I			1

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	(十四、日/313)
配分額 (a)	530	393	296	348	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	83	
交付額 (c=a+b)	530	393	296	265	
前年度からの繰越額 (d)	0	173	226	163	
支払済額 (e)	357	340	359	339	
翌年度繰越額(f)	173	226	163	89	
うち未契約繰越額(g)	32	63	0	43	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.03	11.13	0	9.95	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		支障物件の移転に時間を要	下部工工事の仮締切工にお		
合その理由		したため、工事時期に遅れ	いて、障害物撤去に不測の		
		が生じたことによる	日数を要し、工事に遅延が		
			生じた事による		

















